

## L P ガス用

## 二段減圧式一体型調整器

KLPB-10M KLPB-20CM  
KLPB-30AMC KLPB-30AM KLPB-50BM KLPB-70BM

## 取扱説明書

製造元・販売元

## 株式会社 桂精機製作所

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1  
TEL 045-461-2334 (代)

## はじめに

このたびは、カツラ L P ガス用二段減圧式一体型調整器をお買い上げいただき誠にありがとうございました。  
この取扱説明書は製品説明・安全のために・設置工事・維持管理・QR コード表示案内の順に作成してあります。

お客様に L P ガスを安全・快適に使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律、同法施行規則、告示並びに例示基準、L P ガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を厳守するほか、この取扱説明書を良く読んで L P ガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で  や  を付してありますが、 は禁止、 は警告又は注意を表したものです。

# 1.

## 製品説明

LPガス用二段減圧式一体型調整器（以下、調整器と呼びます）は、高圧のLPガスを燃焼器具の入口へ適切な圧力で供給するために、二段にわたって減圧・調整する機能を有するもので中圧部にはガス放出防止器（調整器の入口圧力 0.2～1.0MPa で調整器の出口開放流量で閉止）を内蔵している主にバルク貯槽用の調整器です。

交換期限を明示したシールを貼付してある製品は、設置後も必ず貼付したままにしておいてください。

万一交換期限内であっても製品に異常が発見された場合は、すみやかに新品と交換し安全に努めてください。

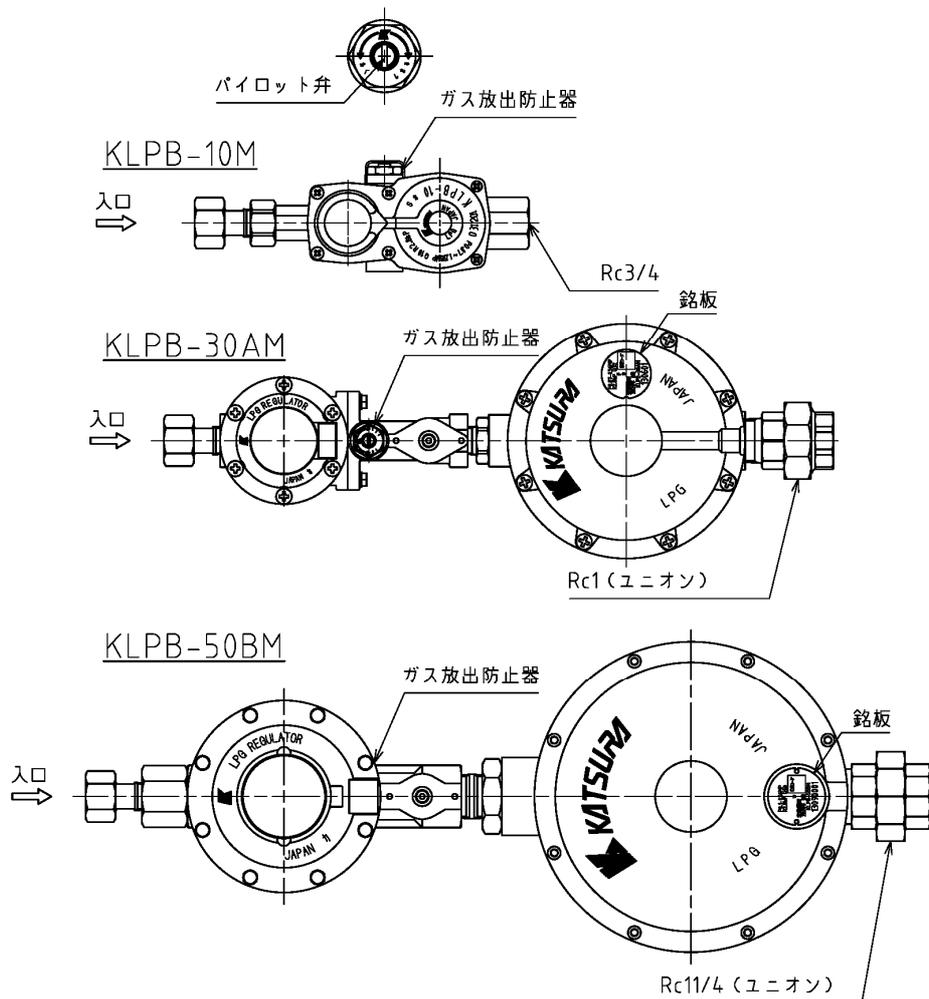
KLPB-10M、KLPB-20CM、KLPB-30AMC、KLPB-30AM は「液化石油ガス販売事業者の認定に係る保安確保機器の設置等の細目を定める告示」の別表調整器の項に定める基準に合格したものです。

KLPB-10M は（財）日本エルピーガス機器検査協会の検査において高性能供給機器の基準に合格した製品で、10年間で交換する製品です。適合した製品には基準適合品マークが貼付されています。

KLPB-20CM、KLPB-30AMC、KLPB-30AM は（一財）日本エルピーガス機器検査協会の検査において供給機器の基準に合格した製品で、7年間で交換する製品です。適合した製品には基準適合品マークが貼付されています。

 製品には、「検査成績書」を同梱してありますのでご確認ください。

### 各部の名称



## 仕様

型式	KLPB-10M	KLPB-20CM	KLPB-30AMC	KLPB-30AM	KLPB-50BM	KLPB-70BM
使用ガス	LPガス					
入口側接続	M28×1.5 または POL おねじ				M28×1.5	
出口側接続	Rc3/4	Rc3/4 (エオン)	Rc3/4 (エオン)	Rc1 (エオン)	Rc1 1/4 (エオン)	
容量 (kg/h)	10	20	30	30	50	70
入口圧力	0.07~1.56 MPa				0.10~1.56 MPa	
調整圧力	2.55~3.30 kPa					
閉塞圧力	3.50 kPa 以下					
ガス放出防止器仕様	入口圧力：0.2~1.0MPa 閉止流量：調整器の出口開放流量					

## 2. 安全のために

**⊘** この製品は LP ガス専用の調整器です。LP ガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので他の用途には使用しないでください。

**⚠** バルク貯槽のガス発生量を十分に考慮し、消費する LP ガス量に見合うバルク貯槽を設置してください。

**⊘** この製品は、地下埋設バルク貯槽には絶対に使用しないでください。なお、地下埋設バルク貯槽用の調整器については弊社にお問い合わせください。

**⊘** 調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れ等による事故発生の原因となりますので絶対に改造しないでください。



分解しない

**⊘** この製品は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、物を当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないでください。



衝撃を与えない

**⚠** 落雪や落下物などにより損傷の恐れのある場所、また長時間直射日光にさらされる場所に設置する場合は、収納庫などで適切に防護してください。

**⚠** この製品は、圧力が異常上昇した際にガスを逃がすための安全弁を内蔵しています。火気から 2 m 以上離れた屋外に設置してください。

## 3.

## 設置工事

- ⚠ 調整器の取付工事は液化石油ガス設備士  
自らが施工してください。

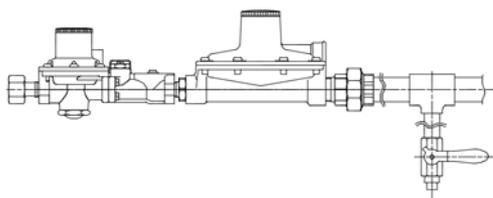


- ⊘ 火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所  
には設置しないでください。

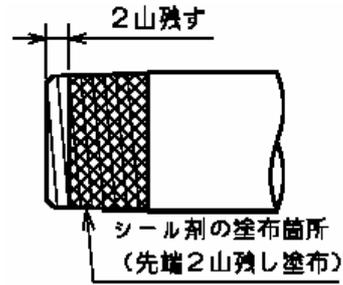
- ⚠ 調整器は、有害ガス（例：アンモニア、亜  
硫酸ガス等）の影響を受ける恐れのある場  
所には設置しないでください。

- ⚠ 調整器を配管等と接続する際には、ガス漏  
れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切  
削油、ゴミ等の異物を完全に除去してく  
ださい。

- ⚠ 調整器の内部にドレンが溜まらないよう  
に水平、または出口側ユニオンが下向きに  
なるように設置し、出口配管部にドレン抜  
きを設けてください。



- ⚠ ねじ接続には、接続するねじの先端2山を  
残し全周にガス用シールテープ（又はガス  
用不乾性シール剤塗布）を巻いてください。  
シール剤が管路中に入らないように注意  
してください。



- ⚠ 調整器を配管等に取り付ける際は、調整器  
の軸方向に曲げ等の力が加わり、本体に無  
理な力が掛からないよう注意し、本体出口  
側にスパナを掛け、固定し配管を適切な力  
でねじ込んでください。（本体及び本体同  
士の接続部にねじ込みの負荷が加わらな  
いよう注意してください。）

- ⊘ 配管用パイプレンチをスパナ代わりにし  
て調整器側を締め付けないでください。



パイプレンチで締め付けない

- ⚠ 調整器に通気口から雨水等が浸入して凍  
結することを防ぐため、適切に防護してく  
ださい。

- ⊘ 調整器の取付工事後、バルク貯槽にガス  
を充填する前はガス取出弁を開かないでく  
ださい。

## ⚠ 使用前の点検

⚠ 調整器の設置工事終了時には、必ず液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律で定められたガス配管の気密試験を実施し、漏れのないことを確認してください。

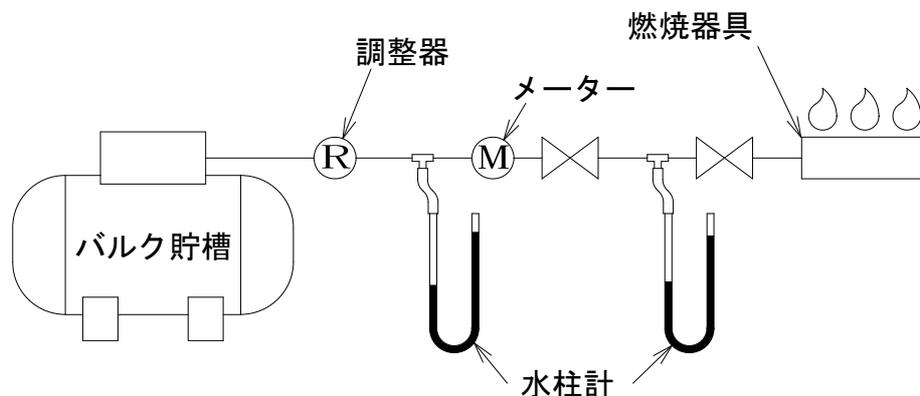
⚠ ガス放出防止器のパイロット弁が閉まっていることを確認してください。

⚠ 周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアージェットを行ってください。この際、バルク貯槽のガス取出弁はガス放出防止器が作動しないようゆっくりと開いてください。ガス放出防止器が作動したときは「4. 維持管理」の復帰操作をしてください。

⚠ 燃焼器具に点火し、ガスが正常に燃焼することを確認してください。

⚠ 設置された全ての燃焼器具使用時に調整器出口における調整圧力が正常（2.55～3.30kPa）であり、設置された燃焼器具の入口圧力が 2.00kPa 以上であることを検査し、調整器が正常に作動することを確認してください。

⚠ ガスの使用を停止し、閉塞圧力が 3.50kPa 以下であることを確認してください。



## 4. 維持管理

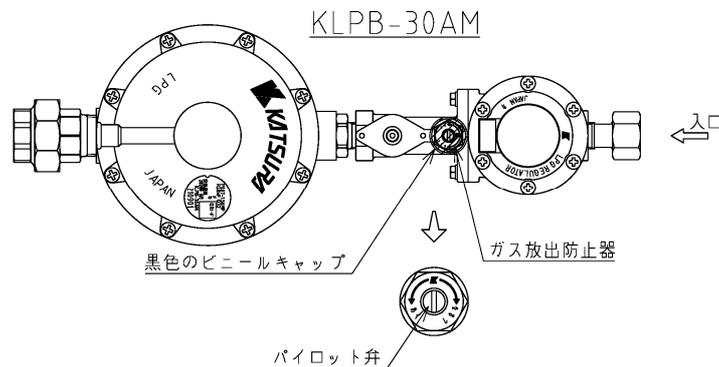
⚠ 調整器が通気口から雨水・雪等が浸入して凍結することを防ぐため防護してください。

⊘ 直射日光に長時間さらされないようにしてください。

⚠ KLPB-20CM、KLPB-30AMC、KLPB-30AM、KLPB-50BM、KLPB-70BM は製造後 7 年、KLPB-10M は製造後 10 年を経過しますと、性能低下が予想されますので新品と交換してください。

⚠ 調整器は使用環境・条件によっては性能低下が著しくなることがあります。その際は新品と交換してください。

- ⚠️ 安全のために調整器や容器の周囲に物を積み上げてあるときは、安全のため移動してください。
- ⚠️ 取り付け状態で、漏えい試験および調整器の調整圧力、閉そく圧力の点検・調査を法律で定められた頻度で行ってください。
- ⚠️ 入口接続部がPOL金具のものは、ガス漏れを防止するためOリングが付いています。破損・劣化等が見受けられた場合には直ちに弊社製の新品Oリングに交換してください
- ⚠️ 設定流量以上のガスが流れた場合にガス放出防止器は作動します。作動した場合は以下の手順に従って復帰操作を行ってください。
  - ① 下流側のすべてのバルブを閉止してください
  - ② ガス放出防止器が作動した原因を調査し、適切な処置を行ってください
  - ③ 黒色のビニールキャップを取り外してください
  - ④ パイロット弁をマイナスイライバーあるいはコイン等で左方向（「あく」の矢印方向）にいっぱいまで回してください
  - ⑤ 上流、下流の圧力が均圧となり、復帰時に「カチン」と音がします
  - ⑥ パイロット弁を右方向（「しまる」の矢印方向）にいっぱいまで回してください
  - ⑦ ビニールキャップを取り付けてください



## 5. QRコード表示案内

調整器（KLPB-10Mは除く）の銘板にQRコードを印字しました。下記に銘板の図とQRコードの読み取り内容を示しますのでご確認ください。

【銘板の図】（例：バルク用調整器 KLPB-30AM の場合）

006, KLPB-30AM, 202110, 202810, 211001, , , , , カツラ, バルク, 30, \*\*\*\*\*, , , ,

006	メーカー番号
KLPB-30AM	型式
202110	製造年月
202810	交換期限（202810:2028年10月を表します）
211001	製造番号（211001:2021年10月の1番ロットを表します）
カツラ	メーカー名
バルク	商品名 バルク：バルク用調整器を表します
30	容量（30：30kg/hを表します）
*****	弊社工場の管理番号

